ラウンドアップマックスロードは「非選択性茎葉処理」除草剤です。枯らしたくない植物には散布液がかからないよう注意して使用してください。●ラベルをよく読む。●記載以外には使用しない。●小児の手の届く所には置かない。
●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。

## ラウンドアップ マックスロードの使い方［登録内容をよくご確認の上お使いください］

**一年生及び小型多年生雑草などには 100倍液**
雑草の生育期に散布します

ジョウロや噴霧器で散布します

スズメノカタビラ・ギシギシ・ヨモギ・ハルジオン・チガヤ・タンポポ・メヒシバなど

**しつこい多年生雑草には 50倍液**
一般的には花芽形成期に散布します

ジョウロや噴霧器で散布します

ハマスゲ・クズ・キシュウスズメノヒエ・セイタカアワダチソウ・ヤブガラシなど

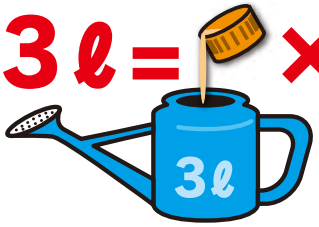
**あきらめていたスギナには 25倍液**
北海道：6～9月、
東北：5～6月、
関東以西：4～6月に、ていねいに散布

ジョウロや噴霧器で散布します

草丈20～30㎝の時期にしっとり丁寧に散布
根まで枯らします。

### 茎葉散布100倍液の簡単な希釈方法

500mℓ/1ℓボトルのキャップ1杯の目安は15mℓです。

3ℓ＝  ×2杯


例：容量3ℓのジョウロや散布機なら
キャップ2杯で100倍液のできあがり！

**希釈早見表**（希釈水量50ℓ/10aの場合）薬量と希釈水量、及び散布面積の目安

| 水量＼倍率（薬量） | 一年生雑草 100倍 | 多年生雑草 50倍 | スギナ 25倍 | 散布面積（目安） |
|---|---|---|---|---|
| 1ℓ | 10mℓ | 20mℓ | 40mℓ | 20㎡=6坪 |
| 4ℓ | 40mℓ | 80mℓ | 160mℓ | 80㎡=24坪 |
| 5ℓ | 50mℓ | 100mℓ | 200mℓ | 100㎡=30坪 |
| 10ℓ | 100mℓ | 200mℓ | 400mℓ | 200㎡=60坪 |
| 20ℓ | 200mℓ | 400mℓ | 800mℓ | 400㎡=120坪 |
| 50ℓ | 500mℓ | 1000mℓ | 2000mℓ | 1000㎡=300坪 |

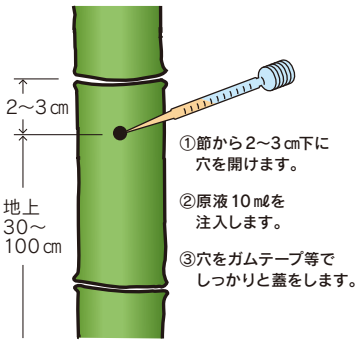
### 竹類の竹稈注入処理方法

原液をタケ1本毎に10mℓ
処理適期：6～8月

**各種竹類に対する効果**（完全落葉までの期間）

| 処理時期 | モウソウチク | マダケ |
|---|---|---|
| 夏処理（6～8月） | 3カ月 | 8カ月 |
| 秋処理（9～11月） | 6カ月 | 8カ月 |
| 原液をタケ1本ごとに10mℓ | | |

完全落葉*すれば、その後処理竹の根まで枯れます。
＊竹の葉が全て落ちた状態、この時期であれば伐採可能です。




### ⚠効果・薬害等の注意

●本剤はグリホサートを含む農薬であるので、他のグリホサートを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用する。
●泥などで濁った水は効果を低下させるので本剤の調製には用いない。
●展着剤の加用の必要はない。
●本剤は土壌中で速やかに不活性化するので、雑草の発生前処理効果はない。
●本剤は散布時の雑草の草丈や茎葉面積が大きい程、効果が確実となるので、散布前に雑草の地上部を刈り払わない。
●本剤は通常2～7日で効果が発現し、効果完成までさらに日数を要するので、誤って再散布しない。
●スギナ防除に際しては、スギナが他雑草の中に埋没しているような条件の散布では効果が劣ることがあるので、スギナにかかるように注意して散布する。
●一年生広葉雑草、または多年生雑草のうちススキ、セイタカアワダチソウ等を主対象に使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用する。
●生育の進んだマルバツユクサに使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用する。
●処理後1時間以内の降雨は効果を低下させることがあるので、天候を良く見極めてから散布する。
●注入処理の場合
①雑かん木には、樹幹の回りに等間隔にナタ目を入れ薬液を注入処理するか、ドリル等で穴を開けて薬液を注入処理し穴をコルク栓などで塞ぐ。
②アカギには、根張り付近に等間隔にドリル等で穴を開けて薬液を注入処理し、穴をコルク栓などで塞ぐ。
③竹類の竹稈注入処理の場合は、処理竹から15m以内に発生したたけのこを食用に供さない。また、縄囲いや立て札により、たけのこが採取されないようにする。
④クズ・フジ等つる類のつる注入処理に使用する場合は、出来るだけ地際に近い部分に、外皮を木部が現れるように切り出しナイフ等で剥皮（幅1.0～1.5cm、長さ6～8cm程度）し、切り口に薬液が十分付着するように処理する。また、つる径2cmを超えるものは浅めに切り口を1～2箇所つけて処理する。
⑤クズの株頭注入処理に使用する場合は、株頭にナタなどで傷をつけ、薬液がよくしみ込むように注入処理する。
●少量散布の場合は、専用のノズルを用いて雑草の葉面に均一に散布する。
●農作物や有用植物に薬液が付着すると、激しい薬害が生ずるので、かからないよう十分注意する（だいずの落葉終期～収穫14日前までに散布する場合を除く）。
●水田畦畔のアシカキ、ハイコヌカグサ、キシュウスズメノヒエ等に使用する場合、所定範囲の多めの薬量を使用する。
●生育期畦間処理で使用する場合は、飛散防止カバーを使用し、作物体にかからないように散布する。
●さとうきびの畦間処理で使用する場合は、仮茎長が1.5m以上のさとうきびに使用し、さとうきびにかからないよう雑草茎葉に散布する。また、倒伏したさとうきびに薬液が付着すると薬害が生ずるので、かからないよう十分注意する。
●牧草の適用雑草名「リードカナリーグラス」に使用する場合、雑草が生え揃った時期以降に散布し、草丈の目安は20cm以上とする。
●作物の出芽前に使用する場合、出芽後に散布すると薬害を生じる恐れがあるので、必ず出芽前に散布する。
●塗布処理の場合、
①雑かん木には、伐採後、直ちに切り口全面に直接塗布する。
②芝の一年生及び多年生雑草には、雑草と芝の高低の差等を利用して、雑草の茎葉に塗布器具等で軽くなでるように塗布する。誤って芝に付着すると薬害を生ずるので十分に注意する。
●だいずの落葉終期～収穫14日前までに使用する場合、特に以下のことに注意する。
①落葉終期とは、だいずの葉の大部分が落葉した時期とする。
②だいず着生葉や莢色に淡緑色が残っている等の成熟の遅れた株（青立ち株）に散布すると、子実の変色やしわ粒等が発生する場合があるので、散布前に除去等を行う。
③水分含量の高い果実をつけた雑草では茎葉が枯れても果実が残る場合があり、汚損粒の原因となるので収穫前に除去等を行う。また、雑草の茎水分含量が高い場合も汚損粒の原因になるので収穫前に除去等を行う。
④気温が低下する条件での処理であり、効果の完成まで2週間以上の期間を要するので、収穫時期は処理後3週間を目安とする。
●本剤の調製及び保管に際しては合成樹脂の内層のない鋼鉄製（ステンレスを除く）の容器類は使用しない。なお散布液を調製した容器及び散布器具は、使用後十分に水洗いする。
●公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意する。
①水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意する。
②散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
●使用量、使用時期、使用方法を守る。適用作物群に属する作物又は新品種に対しては、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### ⚠安全使用上の注意

●使用時は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして洗眼する。
●眼に入らないように注意。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける（刺激性）
●公園、堤とうなどで使用する場合、使用区域に縄囲いや立て札をたて、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
●使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管。
魚毒性等…河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意（魚類）。
養魚田周辺での使用には特に注意。河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意（藻類）
保　管…密栓し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼な所。

## ■適用雑草と使用方法【茎葉散布】

| 作物名 | 適用場所 | 適用雑草名 | 使用時期 | 10アール当り使用量 | | 本剤の使用回数 | 使用方法 | グリホサートを含む農薬の総使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 薬量(mℓ) | 希釈水量(ℓ) | | | |
| 果樹類（かんきつを除く） | —— | 一年生雑草 | 収穫7日前まで（雑草生育期） | 200～500 | 通常散布 50～100 少量散布 25～50 | 3回以内 | 雑草茎葉散布 | 3回以内 |
| | | 多年生雑草 | | 500～1000 | | | | |
| | | スギナ | | 1500～2000 | | | | |
| | | マルバツユクサ | | 500～1500 | | | | |
| かんきつ | | 一年生雑草 | | 200～500 | | 5回以内 | | 5回以内 |
| | | 多年生雑草 | | 500～1000 | | | | |
| | | スギナ | | 1500～2000 | | | | |
| | | マルバツユクサ | | 500～1500 | | | | |
| びわ（葉） | | 一年生雑草 | 耕起前まで（雑草生育期） | 200～500 | | 1回 | | 3回以内 |
| | | | 収穫7日前まで（雑草生育期） | | | 3回以内 | | |
| | | 多年生雑草 | | 500～1000 | | | | |
| | | スギナ | | 1500～2000 | | | | |
| | | マルバツユクサ | | 500～1500 | | | | |
| オリーブ（葉） | | 一年生雑草 | 耕起前まで（雑草生育期） | 200～500 | | 1回 | | |
| | | | 収穫21日前まで（雑草生育期） | | | 3回以内 | | |
| | | 多年生雑草 | | 500～1000 | | | | |
| | | スギナ | | 1500 | | | | |
| | | マルバツユクサ | | 500～1500 | | | | |
| 水田作物（水田畦畔） | 水田畦畔 | 一年生雑草 | 収穫前日まで（雑草生育期） | 200～500 | | 2回以内 | | 2回以内 |
| | | 多年生雑草 | | 200～1000 | | | | |
| | | スギナ | | 1500～2000 | | | | |
| 水田作物（水田刈跡） | 水田刈跡 | 一年生雑草 | 雑草生育期 | 200～500 | | 1回 | | 1回 |
| | | 多年生雑草 | | 500～1000 | | | | |
| 水田作物、畑作物（休耕田） | 休耕田 | 一年生雑草 | | 200～500 | | 2回以内 | | 2回以内 |
| | | 多年生雑草 | | 500～1000 | | | | |
| | | スギナ | | 1500～2000 | | | | |
| 水田作物（水稲を除く） | —— | 一年生及び多年生雑草 | 耕起前（雑草生育期） | 200～500 | | 1回 | | 1回 |
| 移植水稲 | | | | | | | | |
| 直播水稲 | | | 耕起直後～出芽前（雑草生育期）（乾田耕起栽培） | | 少量散布 25～50 | 2回以内 | | 耕起栽培は2回以内（耕起前は1回以内）乾田不耕起栽培は2回以内 |
| | | | は種30日前～出芽前（雑草生育期）（乾田不耕起栽培） | | | | | |
| 麦類 | | 一年生雑草及び多年生イネ科雑草 | 耕起前又はは種前まで（雑草生育期） | | 通常散布 50～100 少量散布 25～50 | 3回以内 | | 3回以内 |
| | | | は種後出芽前（雑草生育期） | | | | | |
| | 圃場内の周縁部 | 一年生雑草 | 収穫前日まで（雑草生育期） | | | | | |
| 雑穀類（そば、とうもろこしを除く） | —— | 一年生雑草 | 耕起前又はは種前まで（雑草生育期） | | | 2回以内 | | 2回以内 |
| そば | | 一年生及び多年生雑草 | | | | | | |
| 豆類（種実、ただし、だいず、あずき、いんげんまめ、らっかせいを除く） | | 一年生雑草 | | | | | | |
| あずき いんげんまめ | | | 収穫5日前まで（雑草生育期：畦間処理） | | | | | |
| だいず | | | 耕起前又は出芽前まで（雑草生育期） | | | | | 4回以内 |
| | | | 収穫前日まで（雑草生育期：畦間処理） | | | | | |
| | | | 落葉終期～収穫14日前まで（雑草生育期） | 500 | 50～100 | 1回 | | |
| えだまめ | | | 耕起前又は出芽前まで（雑草生育期） | 200～500 | 通常散布 50～100 少量散布 25～50 | 3回以内 | | 3回以内 |
| | | | 収穫前日まで（雑草生育期：畦間処理） | | | 2回以内 | | |
| 野菜類（えだまめ、はくさい、キャベツ、アスパラガス、レタス、ねぎ、たまねぎ、ほうれんそう、にんじん、だいこん、トマト、ピーマン、とうがらし類、きゅうり、なす、びわ（葉）、オリーブ（葉）を除く） | | | 耕起前まで（雑草生育期） | | | 1回 | | 1回 |
| トマト | | | 耕起前まで（雑草生育期） | | | 3回以内 | | 3回以内 |
| はくさい、キャベツ | | | 耕起前又は定植5日前まで（雑草生育期） | | | 1回 | | 1回 |
| レタス | | | | | | | | |
| ねぎ | | | 収穫30日前まで（雑草生育期：定植後畦間処理） | | | 3回以内 | | 3回以内 |
| たまねぎ | | | 耕起5日前まで（雑草生育期） | | | | | |
| | | | 収穫7日前まで（雑草生育期：畦間処理） | | | | | |
| ほうれんそう | | | 耕起前又はは種前まで（雑草生育期） | | | | | |
| にんじん | | | | | | 2回以内 | | 2回以内 |
| アスパラガス | | | 耕起前まで（雑草生育期） | | | 1回 | | 3回以内 |
| | | | 収穫前日まで（雑草生育期：畦間処理） | | | 2回以内 | | |
| | | スギナ | | 1500～2000 | | | | |
| だいこん | | 一年生雑草 | 耕起前又はは種前まで（雑草生育期） | 200～500 | | | | 2回以内 |
| | | | 収穫5日前まで（雑草生育期：畦間処理） | | | | | |
| きゅうり | | | 耕起前まで（雑草生育期） | | | | | 3回以内 |
| | | | 収穫前日まで（雑草生育期：畦間処理） | | | | | |
| ピーマン、とうがらし類、なす | | | 耕起前まで（雑草生育期） | | | | | 2回以内 |
| | | | 収穫前日まで（雑草生育期：畦間処理） | | | | | |
| いも類（かんしょを除く） | | | 耕起前又は植付け前まで（雑草生育期） | | | 1回 | | 1回 |
| かんしょ | | | 耕起前又は挿苗前まで（雑草生育期） | | | 2回以内 | | 2回以内 |
| | | | 収穫60日前まで（雑草生育期：畦間処理） | | | | | |

## ■適用雑草と使用方法【茎葉散布】

| 作物名 | 適用場所 | 適用雑草名 | 使用時期 | 10アール当り使用量 | | 本剤の使用回数 | 使用方法 | グリホサートを含む農薬の総使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 薬量(mℓ) | 希釈水量(ℓ) | | | |
| 茶 | —— | 一年生及び多年生雑草 | 摘採7日前まで(雑草生育期) | 500～1000 | 通常散布50～100<br>少量散布25～50 | 2回以内 | 雑草茎葉散布 | 2回以内 |
| さとうきび | —— | 一年生雑草 | 耕起前又は植付け前まで(雑草生育期) | | | 4回以内 | | 6回以内 |
| | | 多年生雑草 | | | | | | |
| | | 一年生及び多年生雑草 | 収穫60日前まで(雑草生育期:畦間処理)(但し、仮茎長1.5m以上) | | | 2回以内 | | |
| | 圃場内の周縁部 | 一年生雑草 | 収穫60日前まで(雑草生育期) | 200～500 | | | | |
| | | 多年生雑草 | | 500～1000 | | | | |
| とうもろこし | —— | 一年生及び多年生雑草 | とうもろこし出芽前まで(雑草生育期) | 200～500 | | | | 2回以内 |
| 飼料用とうもろこし | | | 飼料用とうもろこし出芽前まで(雑草生育期) | | | | | |
| 花き類・観葉植物 | | 一年生雑草 | 耕起前まで(雑草生育期) | | | | | |
| 樹木類 | | | 雑草生育期 | | | 4回以内 | | 4回以内 |
| | | 多年生雑草 | | 500～1000 | | | | |
| | | スギナ | | 1500～2000 | | | | |
| | | マルバツユクサ | | 500～1500 | | | | |
| 樹木等 | 公園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道等 | 一年生雑草 | | 200～500 | | 3回以内 | 植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草木茎葉散布 | 3回以内 |
| | | 多年生雑草 | | 500～1000 | | | | |
| | | スギナ | | 1500～2000 | | | | |
| | | ススキ、ヒレハリソウ、クズ等のつる性多年生雑草、ササ類、雑かん木 | | 1000～2000 | | | | |
| 牧草 | 牧野、草地(更新・造成) | 一年生及び多年生雑草 | 耕起前まで(雑草生育期) | 200～500 | 少量散布25～50 | | 雑草茎葉散布 | |
| | | | 耕起整地後～は種当日まで(雑草発生揃期) | | | | | |
| | | リードカナリーグラス | 最終刈取後:雑草生育期(草丈50cm以下) | 500～1000 | 50～100 | | | |
| 桑 | —— | 一年生及び多年生雑草 | 発芽前又は夏切後発芽前(雑草生育期) | 200～500 | 少量散布25～50 | 4回以内 | | 4回以内 |
| 林木 | 林地、造林地(地ごしらえ) | ススキ、ササ類、クズ等の多年生雑草、雑かん木 | 生育期 | 1000～2000 | 30 | 3回以内 | 雑草木茎葉散布 | 3回以内 |

## ■適用雑草と使用方法【注入処理】

| 作物名 | 適用場所 | 適用雑草名 | 使用時期 | 希釈倍数 | 使用液量 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | グリホサートを含む農薬の総使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 樹木等 | 公園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道 等 | クズ | 生育期 | 原液 | 1～2mℓ/株 | —— | 株頭注入処理 | —— |
| | | 雑かん木 | 雑かん木生育期 | 原液又は2倍液 | 1mℓ/カ所　幹周7～8cm間隔<br>地上30cm直径 / カ所数<br>10cm以下 / 2～3<br>10～15cm / 4～6<br>16～20cm / 7～9<br>20cm以上 / 10以上 | | 立木注入処理 | |
| | | クズ・フジ等のつる類 | 生育期 | | つる径 / 使用量(mℓ/株)<br>2.0cm以下 / 0.5<br>2.1～3.0cm / 1.0<br>3.1～4.0cm / 1.5<br>4.1～5.0cm / 2.0<br>5.1cm以上 / 3.0以上 | | つる注入処理 | |
| 林木 | 林地 | | | | | | | |
| | 林地、放置竹林、畑地 | 竹　類 | 夏～秋期 | 原液 | 5～10mℓ/本 | | 竹稈注入処理 | |
| | 林地 | 雑かん木 | 雑かん木生育期 | 原液又は2倍液 | 1mℓ/カ所　幹周7～8cm間隔<br>地上30cm直径 / カ所数<br>10cm以下 / 2～3<br>10～15cm / 4～6<br>16～20cm / 7～9<br>20cm以上 / 10以上 | | 立木注入処理 | |
| | | アカギ | アカギ生育期 | 原液 | 1mℓ/カ所　幹周7～8cm間隔<br>地上30cm直径 / カ所数<br>10cm以下 / 2～3<br>10～20cm / 4～8<br>20cm以上 / 10以上 | | | |
| 畑作物 | 林地、放置竹林、畑地 | 竹　類 | 夏～秋期 | | 5～10mℓ/本 | | 竹稈注入処理 | |
| | 畑地 | アカギ | アカギ生育期 | | 1mℓ/カ所　幹周7～8cm間隔<br>地上30cm直径 / カ所数<br>10cm以下 / 2～3<br>10～20cm / 4～8<br>20cm以上 / 10以上 | | 立木注入処理 | |

## ■適用雑草と使用方法【塗布処理】

| 作物名 | 適用場所 | 適用雑草名 | 使用時期 | 希釈倍数 | 使用液量 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | グリホサートを含む農薬の総使用回数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 樹木等 | 公園、堤とう、駐車場、道路、運動場、宅地、のり面、鉄道 等 | 雑かん木 | 伐採直後 | 原液又は2倍液 | 切り口全体に十分量を塗布 | —— | 植栽地を除く樹木等の周辺地に切株塗布処理 | —— |
| 樹木類 | 林地、畑地 | | | 原液 | 切り口直径 / 塗布量<br>5cm以下 / 2mℓ<br>5～10cm / 3～6mℓ<br>10cm以上 / 10mℓ以上 | 4回以内 | 切株塗布処理 | 4回以内 |
| 牧草 | 牧野、草地 | | | | | 2回以内 | | 2回以内 |
| 日本芝(のしば) | —— | 一年生及び多年生雑草 | 雑草生育期 | 5～10倍 | 3～9ℓ/10a | 3回以内 | 雑草茎葉塗布 | 3回以内 |